



「葉っぱあーと」で楽しむ秋

10月23日、市内の児童を対象に、かすみがうらチャレンジ広場（下稻吉中学校区三校連支援ボランティア）のワークショップを開催。イラストレーターの本田亮さんを講師に迎え、落ち葉でイラストを作る「葉っぱあーと」を行いました。自由な発想で色とりどりの葉っぱを組み合わせ、生き物には目のシールを貼ってできあがり。作品を手記念撮影をし、秋の素敵な思い出となりました。

▶三校連では、参加者・スタッフを募集しています。



中志筑地区の歴史を学ぶ研修会

11月26日、中志筑地区で「3中地区公民館コミュニティ推進委員合同研修会」を開催。コミュニティ推進委員の皆さんは、中志筑史源保全の会による歴史ガイドに耳を傾けながら、志筑城跡や新選組参謀・伊東甲子太郎の生家、長興寺、千手観音堂などを見学しました。

参加者からは「市内にこんなにたくさんの素晴らしい文化財があることを知って、とても感動しました」と感想がありました。



「子どもを守ろう」を合言葉につなぐ

11月4日、茨城県内で「子どもを守ろう！オレンジリボンたすきリレー 2022」が行われました。このリレーでは、子どもの虐待をなくすことを呼び掛ける運動として、県内各地からたすきを県庁へとつなぎます。土浦市から本市へのたすきの引き継ぎと「子どもを守ろう」を合言葉に啓発活動を実施後、石岡市へつなぎ、県庁を目指しました。市では、子どもの虐待防止のため、関係機関と連携し、早期発見と早期対応に努めていきます。



「カッコイイ大人」から刺激を受ける

11月12日、19日、学生を対象に「内省教育プロジェクト」を開催しました。この企画は、学生が市内の事業者との交流を通して自分の志を発見するためのものです。12日は、学校キャンプ場「CAMPiece かすみがうら」で、バーベキューをしながら学生が事業者と意見交換をしました。市内で働く「カッコイイ大人」たちの話を聞いたことで、これから進学や就職を決める岐路に立つ学生にとっては、大きな刺激となったことでしょう。



自分の健康状態と向き合うきっかけに

12月4日、あじさい館で、神立病院主催（市共催）の「健康づくり市民公開講座」が開催されました。「腰がまがる、膝がまがるは、何がわるい？」をテーマに、神立病院の平塚圭介理事長が、痛みの原因や症状、改善方法などについて解説。「年齢を理由に諦めることなく、自分の体の状態を把握し、日常生活を見直してみよう」と説明していました。参加者にとって、自分の健康状態と向き合い、より良くするきっかけとなったことでしょう。



骨密度測定や血管年齢チェックも実施 ▶

栃木国体 陸上（少年男子 B）100m 優勝

11月25日、栃木県で10月に開催された国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に出場した小室歩久斗さんが、市長を表敬訪問されました。霞ヶ浦中学校の卒業生で、現在つくば秀英高校1年生の小室さん。出場した陸上100m（少年男子 B）で、10秒64のタイムを記録し、優勝をつかみ取りました。

「みんなの応援が力になり、集中して走ることができました」と、優勝の喜びを話してくれました。



茨城県代表バレーボール選手として活躍

12月14日、大阪府で12月25日から開催される「JOCジュニアオリンピックカップ第36回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に茨城県選抜として出場する下稻吉中学校3年生の高野直翔さんが、市長を表敬訪問されました。高野さんは、さまざまなポジションとして活躍するオールラウンダーの選手です。

茨城県選抜チームはグループ戦を1位で突破し決勝トーナメントへ進出。ベスト16の成績を収めました。

